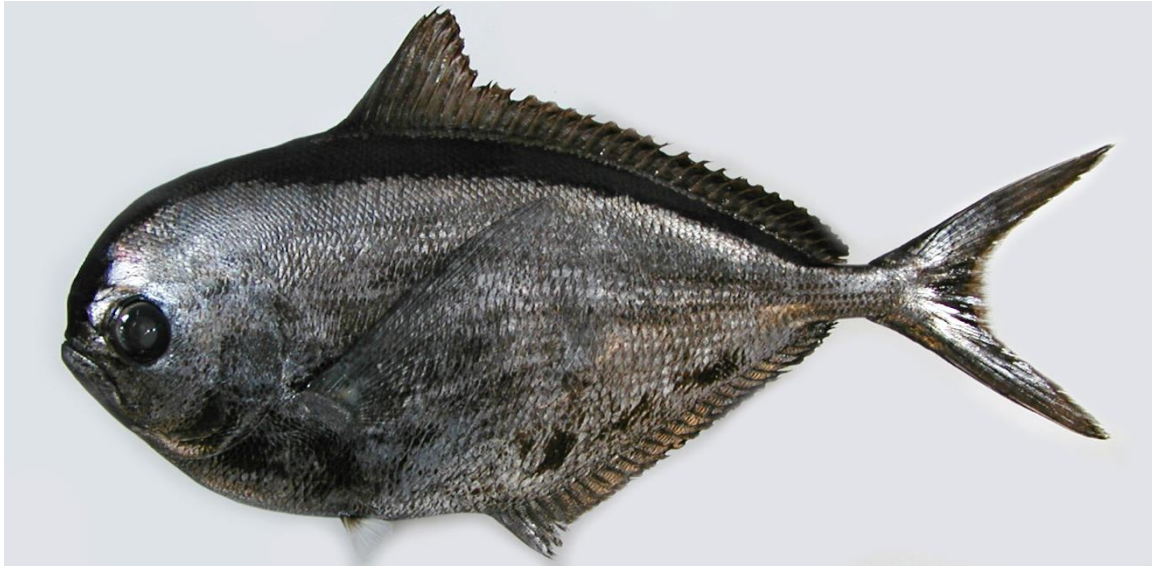


## 愛媛県三崎半島周辺から得られたシマガツオ

清水孝昭<sup>1</sup><sup>1</sup> 愛媛県農林水産研究所水産研究センター写真1 *Brama japonica* シマガツオ (TKPM-P 24111)

## 種の記録

Bramidae シマガツオ科

*Brama japonica* Hilgendorf 1878

シマガツオ(写真 1)

標本 徳島県立博物館魚類標本(TKPM-P)241111, 標準体長 319.9mm, 採集日:2005年5月3日, 採集場所:愛媛県伊方町三崎 串(宇和海側), 採集方法:釣り. 24147, 標準体長 343.8mm, 採集日:2007年4月11日, 採集場所:愛媛県伊方町 女子岬沖 0.8 マイル, 水深 50-60m, 採集方法:流し網.

## 種の特徴

体は体軸方向に長い卵型で強く側扁する。頭部背縁は突出する。尾鰭は深く二分する。胸鰭基部は鰓蓋後端より後方に位置する。尾柄から尾鰭基底にかけて鱗は徐々に小さくなる。背鰭, 臀鰭上に小鱗がある。生鮮時, 体背部は暗色で, 体側から腹部にかけてと臀鰭は燻し銀様。背鰭, 尾鰭は暗色で, 胸鰭は暗色味を帯びた透明。

頭長は標準体長の 26.9-27.9%。胸鰭基底部から腹鰭始部までの長さは標準体長の 9.9-10.4%, 頭長の 37.6-38.6%。背鰭軟条数 33-34, 臀鰭軟条数 27, 胸鰭軟条数 21, 鰓耙数 17-18, 縦列鱗数 75。

## 備考

標本個体の特徴は本種に一致し, これらの形質により日本産本科魚種のすべてと区別された(波戸岡・甲

斐, 2013; 畑ほか, 2015)。日本において本種は北海道から土佐湾にかけての太平洋, 北海道から九州北岸にかけての日本海, 伊豆諸島, 小笠原諸島, 東シナ海, 九州-パラオ海嶺および鹿児島県種子島から報告されており(畑ほか, 2015), 本報告は登録標本に基づく愛媛県並びに宇和海初記録である。本科魚類として, 愛媛県では愛南町(宇和海)からヒメシマガツオ *Brama dussumieri* Cuvier 1831 が記録されている(高木ほか, 2010)。

## 引用文献

- 畑 晴陵・伊東正英・山田守彦・高山真由美・本村浩之. 2015. 標本に基づく鹿児島県のシマガツオ科魚類相. *Nature of Kagoshima*, 41: 73-93.
- 波戸岡清峰・甲斐嘉晃. 2013. シマガツオ科. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 905-909, 1998-1999.
- 高木基裕・平田智法・平田しおり・中田 親. 2010. えひめ愛南お魚図鑑. 愛南町, 愛媛. 250p.

(2023年2月13日受付, 2023年2月15日公開)

清水孝昭(e-mail: simizu-t@sky.hi-ho.ne.jp)

(Takaaki Shimizu. 2023. Record of *Brama japonica* (Bramidae) around Misaki Peninsula, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 23004)